

和顔愛語

わ げ ん あ い ご

令和元年
11月15日発行
Vol.9

総本山団体参拝・開山忌法要を実施しました

満徳寺と兼務します来迎寺の合同で十月十一日に総本山遊行寺への参拝を行いました。当日は総勢約六十名。中型バス二台での参拝となりました。参拝者の先祖回向や踊念佛、双盤念佛の鑑賞、宝物館の拝観をし、中華街での懇親会を行いました。生憎の天気ではありましたが、貴重な時間を過ごせたのではないでしょうか。

また、十月二十三日には毎年恒例の開山忌法要を厳修致しました。法要に先立つて行われた護持会の総会では、全議案可決承認いただきました。法要には県内外から約二十名の僧侶に参加いただき、盛大に法要ができたこと感謝いたします。

二祖真教上人七百年御遠忌

遊行寺にて二月二十七日の開白法要から始まりました二祖真教上人の七百年御遠忌が十月十五日に無事終了いたしました。皆さまにおかれまして、遊行寺の御本尊修復に際して淨財寄進のお願いを行い、ご協力くださりこの場を借りて御礼申し上げます。金色色に輝く阿弥陀さまが遊行寺の本堂に鎮座しております。

御遠忌ですが、各宗派で宗祖上人などを五十年や百年おきに供養するものであります。時宗においては、教団の基盤を確立したのは、二祖上人ですので、二祖上人の御遠忌も行っています。

今回の御遠忌は実行委員会を組織して進めてまいりました

たが、当山副住職は「団参部会長」としてかかわっておりました。御遠忌期間、数多くのお寺から参拝があり、職員として本山に務めている私は少し大変に感じましたが、とてもありがとうございました。

総本山団体参拝の様子

当山においても冒頭述べたように、兼務します大谷の来迎寺と合同での参拝という初の試みで、遊行寺への団体参拝を実施いたしました。先にも述べたように、私は職員、副住職は団参部会長として本山におりましたので、本山でお出迎えをするという形でした。

本山では、先祖の回向、御上人との御対面、踊念佛、双盤念佛の鑑賞、宝物館館長による説明付きの宝物館見学など充実した時間となつたのではないでしょうか。

当山では、護持会の事業として研修旅行を実施しています。昨年は十一月二十七日に行われた「別時念佛会・一ツ火」を一泊で見学に行きました。今後も計画していくので、今回参加できなかつた方も次回はぜひご参加ください。

開山忌お施餓鬼法要

毎年実施しております、開山忌お施餓鬼法要ですが、天候にも恵まれ本年も無事厳修することができました。
先立つて行われた護持会総会に関しましても、全議案に対する承認をいたしております。

「宗教離れ」「仏教離れ」と言われている昨今ではありますが、お檀家さんとお寺のかかわりを増やしていく取り組みを実施しながら、みなさまに必要とされる寺院運営を行っていきたい思います。

お施餓鬼法要に関しては、法要の前に桜川市にあります常永寺の住職さんにお話をいただきました。

法要では二十名の僧侶にお越しいただき法要を厳修致しました。お施餓鬼の意味については前号でお話させていただきました。お施餓鬼法要には前号でお話させていただきました。

大勢の僧侶が当山に集まつて法要を行う機会というのは、開山忌法要くらいですので、毎年十月二十三日です。ぜひ一緒にご供養していただければと思います。



次の大きな行事としては二月三十一日の除夜法要、一日一日の修正会になるかと思います。
早いものでもう年末年始のお話をする時期ですね。みなさまのお参りお待ちしております。

